

第1回“京都をつなぐ無形文化遺産”審査会次第

日 時：平成29年8月17日（木）
10：00～12：00
場 所：職員会館かもがわ大会議室

1 開会

2 挨拶

3 議事

- ・“京都をつなぐ無形文化遺産”制度の説明
- ・市民アンケートの中間結果の報告
- ・“京都をつなぐ無形文化遺産”「京の年中行事」の検討

4 閉会

【配布資料】

- ①次 第
- ②名 簿
- ③配席図
- ④資 料

資 料 1	“京都をつなぐ無形文化遺産”制度
資 料 2	第1回審査会の論点
資 料 3	市民アンケート中間結果
資 料 4	選定にあたって（ポイント）
資 料 5	内容案（冊子案）

“京都をつなぐ無形文化遺産”審査会委員名簿

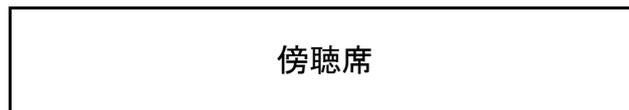
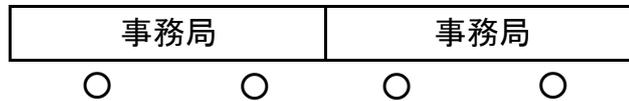
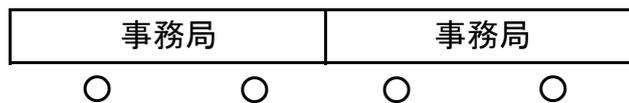
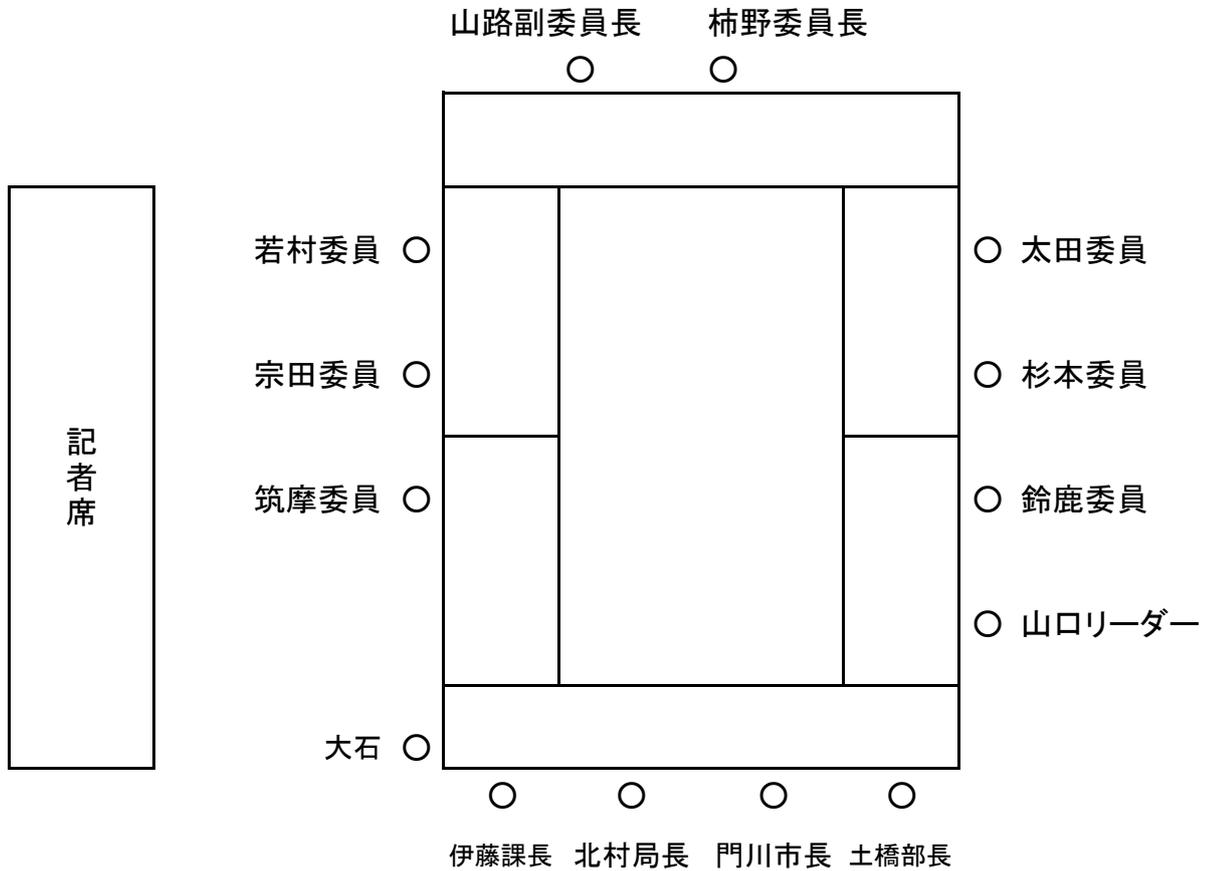
(五十音順, 敬称略)

	氏 名	肩 書
委員	太田 達	(公財) 有斐斎弘道館代表理事
委員長	柿野 欽吾	京都産業大学理事長
委員	杉本 歌子	(公財) 奈良屋記念杉本家保存会学芸部長
委員	鈴鹿 可奈子	(株) 聖護院八ッ橋総本店専務取締役
委員	筑摩 寿	市民公募委員
委員	宗田 好史	京都府立大学副学長・京都和食文化研究センター長
委員	山路 興造	京都市文化財保護審議会委員
委員	若村 亮	(株) らくたび代表取締役
オブザーバー	山口 壮八	文化庁地域文化創生本部 暮らしの文化・アートグループリーダー

第1回京都をつなぐ無形文化遺産審査会配席図

日時：平成29年8月17日（木）10:00～12:00

場所：職員会館かもがわ大会議室



① “京都をつなぐ無形文化遺産” 制度の趣旨

資料1

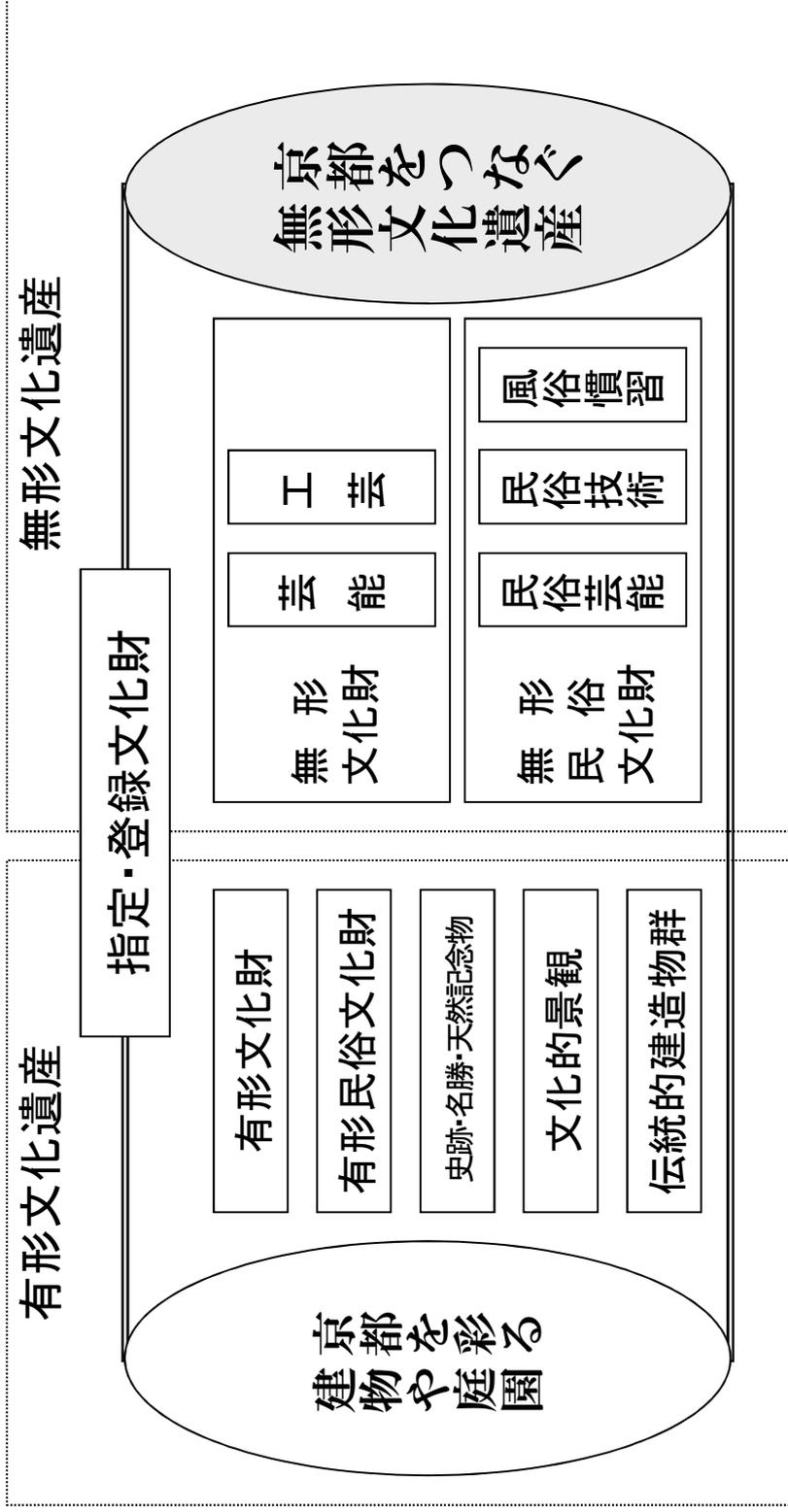
- ▶ 京都には、時代とともに変容しながらも、世代を越えて暮らしの中で伝えられてきた数多くの無形文化遺産があるが、定義や概念、保存団体が不明確であることから、現行の法令上、文化財としての指定・登録が困難なものもある。
- ▶ そこで、それらの価値を再発見，再認識し，内外に魅力を発信するとともに，大切に引き継いでいこうという市民的気運を盛り上げるため平成25年度，京都市独自の仕組みとして「“京都をつなぐ無形文化遺産”制度」を創設した。

これまでの
選定

- 平成25年10月 京の食文化
- 平成26年3月 京・花街の文化
- 平成26年11月 京の地蔵盆
- 平成28年2月 京のきもの文化
- 平成29年3月 京の菓子文化

②制度の対象

京都において世代を越えて暮らしの中で継承されている無形の文化遺産を対象とし、有識者等で構成する審査会において選定する。



③ 今回の選定について

- ▶ 「京の年中行事」は、京都で受け継がれる数多くの無形文化遺産の中でも、「京都における地域コミュニティの形成に重要な役割を果たし、また薄れつつある季節感と行事の意義を実感できる」として、過去の審査会で、その価値が高く評価されている。これを踏まえ、「京の年中行事」を選定候補とする。
- ▶ また、今年度は、「京の年中行事」を選定するとともに、制度創設から5年目の集大成として、これまでに選定してきた5件も含め、京都の暮らしの文化を総括する。
- ▶ 本年6月に文化芸術振興基本法が改正され、国において食文化その他の生活文化の振興を図ることが明文化された。また、文化庁が京都に移転することが決定しており、本市では、文化庁とも連携しながら、暮らしの文化が未来へ継承されるよう、より一層普及啓発に努める。

④「京の年中行事」（仮称）選定スケジュール

▶ 第1回審査会（平成29年8月）

選定の方向性について意見交換



▶ 第2回審査会（平成29年10月予定）

選定案について審議



▶ 第3回審査会（平成29年12月予定）

選定案について最終審議



▶ 答申，選定



第1回審査会の論点

- 「京の年中行事」の価値や魅力について
- 「京の年中行事」の範囲や対象について
- 京都特有の年中行事，京都の暮らしの文化の特質について
- 旧暦と年中行事の関係について

(選定後について)

- 「京の年中行事」の普及啓発について（冊子の活用等）

「京の年中行事」に関するアンケート

京都には、世代を越えて暮らしの中で伝えられてきた数多くの無形文化遺産があります。それらの価値を再発見、再認識し、大切に引き継いでいこうという気運を盛り上げるため、平成25年4月、京都市独自の仕組み“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を創設し、これまでに「京の食文化」、「京・花街の文化」、「京の地蔵盆」、「京のきもの文化」、「京の菓子文化」の5件を選定しました。

この度、季節感を実感でき、家族や地域のつながりを深める重要な役割を果たしてきた「京の年中行事」を6件目の選定対象として検討することとしました。

ついては、市民の皆様の暮らしの中の年中行事について、以下のアンケートを実施しますので、御協力よろしくお願ひ申し上げます。

◆ 募集期間

平成29年6月5日(月)～平成29年8月31日(木)【必着】

◆ 応募方法

郵送、ファックス又は電子メールにより応募してください。

京都をつなぐ無形文化遺産ホームページ (kyo-tsunagu.net) から御応募いただけます。

なお、提出いただいた書類は返却いたしませんので、御了承願ひます。



◆ 御意見の取扱い

この意見募集で収集した個人情報につきましては、「京都市個人情報保護条例」に基づき適切に取り扱い、他の目的に利用することは一切ありません。

なお、御意見に対する個別の回答はいたしませんので、あらかじめ御了承願ひます。

◆ 問合せ先及び応募先

〒604-8006

京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町394番地 Y・J・Kビル2階

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

電話：(075) 366-1498 / FAX：(075) 213-3366

電子メール：bunka-hogo@city.kyoto.lg.jp



京都市
CITY OF KYOTO

発行：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課 平成29年6月

京都市印刷物第294244号



市民への年中行事アンケートの中間結果

1 市民アンケートの概要

(1) 募集期間

平成29年6月5日（月）～平成29年8月31日（木）

※以下、平成29年8月14日現在の中間結果となります。

(2) アンケート数等

アンケート数：575人，意見数：2,885件

(3) アンケートに答えていただいた方の属性

ア 居住地等（人）

京都市在住	京都市通勤・通学	その他	不明	合計
568	2	1	4	575

イ 年齢（人）

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
26	91	107	116	110	95	26	4	575

ウ 性別（人）

男性	女性	不明	合計
272	298	5	575

2 市民アンケートの内容

Q1 あなたが大切にしたい、家庭や地域で引き継がれてきた「年中行事」を教えてください。

行事等	件数	主な行動等
正月（初詣）	361	初詣，白味噌丸餅の雑煮を食べる，おせち料理を食べる，家族で集まる，お年玉など，書初め
盆	103	墓参り，先祖を偲ぶ，御精霊さんを迎える・送る，家族・親戚で集まる
節分	80	太巻き（恵方巻き）を食べる，豆まき，お札を納める，イワシを食べる
大晦日（年越し）	76	年越しそばを食べる，除夜の鐘を聴く，をけら詣り，大掃除
地藏盆	72	町内行事として参加する，地藏を飾る，数珠回し，ゲームを行う，子どもがお菓子をもらう
夏越の祓え	40	水無月を食べる，茅の輪くぐり，鱧・芋茎を食べる
七草	39	七草粥を食べる
祇園祭	36	巡行見学，鉾見学，浴衣を着て宵山等に参加する，粽を飾る
上巳の節句（桃の節句，雛祭り）	30	雛人形を飾る，桃の枝を供える，ちらし寿司を食べる

クリスマス	19	ケーキ・鳥料理を食べる，プレゼントを贈る
端午の節句 子供の日	16	兜飾り・大将人形・白馬などを飾る，柏餅・ちまきを食べる 鯉のぼりを立てる
誕生日	15	ケーキを食べる，プレゼントを贈る・貰う，家族で集まる
五山送り火	14	送り火を見る
七夕	13	笹飾り，短冊に願い事を書く
彼岸	8	墓参り
土用の丑	7	ウナギを食べる
葵祭	5	鯖寿司を食べる，行列見物
冬至	5	柚子湯に入る，カボチャを食べる
七五三	4	子の成長祈願
夏祭り	4	屋台でゲームをする
小正月	3	小豆粥を食べる，ぜんざいを炊く
御手洗祭	3	下鴨神社で水に足をつける，みたらし団子を食べる
十五夜	3	月見をする，団子を食べる
運動会（学区 民体育祭）	2	運動会に参加する
どんど（とん ど）焼き	2	古くなったお札等を焚き上げる
やすらい祭り	1	氏子が地域を練り歩く
十三まいり	1	祈願
六斎念仏	1	狂言
六道まいり	1	千本えんま堂に行く
その他	85	新年会，海の日，御挨拶，花見，秋祭りなど
合計	1,048	

Q2 「年中行事」を大切だと思う理由であてはまるものに「○」をつけてください。

a	伝統や風習を大切にしたいから	3 3 0
b	季節を感じられるから	3 0 3
c	暮らしにメリハリがつくから	1 5 8
d	祈願や感謝等の行事の意義が大切だから	1 2 2
e	地域の結びつきを深めるから	8 5
f	親族や友人が集まる機会になるから	1 6 7
g	行事特有の食文化等もあるから	1 2 9
h	地域への愛着や誇りを育むから	8 1
i	特に理由はないが慣習なので	7 1
j	その他 (※)	1 5
総数		1, 4 6 1

(※)「j その他」の御意見

- ・ 世の中、昔に比べて人付き合いが減っていると思います。家族や親戚が集まったり、人と交流する機会としても大事な時間だと思います。
- ・ みんな何かしら行事に関することをやっていて、やらない方がおかしいと思うので。
- ・ 家族が代々受け継いできたから
- ・ 子供たちに伝えていくから
- ・ 家族への感謝のために
- ・ 家族の絆を感じる
- ・ 祈願や感謝等の行事の意義が大切だから
- ・ 楽しいから
- ・ ない。あるのが羨ましい
- ・ 特に大切だとは思っていない
- ・ 大切ではない
- ・ 特別に行う事はない
- ・ 行事を気にしない

Q3 「年中行事」を継承していくための普及啓発のアイデア，その他の御意見等を自由に御記入ください。

- ・ イベントを実施する
- ・ 行事に詳しい高齢者の話を聞く
- ・ 参加しやすい雰囲気づくり
- ・ TV・CM等のメディアを活用して発信する
- ・ SNSを活用して発信する
- ・ スーパーで行事食を販売する
- ・ 職場，学校で啓蒙する
- ・ 古いしきたりだけでなく新しい楽しみ方を常に取り入れる
- ・ 小学校の給食で出したり，授業に取り入れたりする
- ・ 特別休暇を設定する
- ・ 地域コミュニティの強化，行事の本当の意義を知る機会を持つ
- ・ 出来る範囲で実行していく
- ・ 現代の暮らしに取り入れやすいかたちにする
- ・ 冊子や掲示など目につく形でまずは知ってもらうことが必要
- ・ 子どもたちに習慣として身に付けさせる
- ・ 体験させる
- ・ 伝統を守るのがカッコイイという空気をつくる

「京の年中行事」の選定にあたって（ポイント）

- 年中行事は、その担い手が世代交代を遂げながらも毎年同じ時期に同じ内容の行事を繰り返すものである。
- 年中行事は、神仏や自然に対する畏れや祈り、感謝、先祖を敬い、故人を偲ぶ気持ち、子供の健全な成長を願う気持ち、生業や生活の向上を祈る気持ちなどを契機に生まれた。
- 年中行事には、初午やお盆など日本の民俗に根差したもの、五節句など中国から伝わったもの、祭礼に伴うものなどがあり、それぞれにまつわる食べ物やしつらい、しきたりがある。
- 千年の都・京都では、公家、武家、僧侶と庶民が交わった歴史が長く、加えて同業者同士のつながりが密接なことから、独自の行事やしきたりが日常生活に定着し、豊かな生活文化が育まれた。
- 年中行事は、単調になりがちな生活にリズムつけ、生活に楽しみや安らぎをもたらしてきた。
- 生活文化として大切に受け継がれてきた年中行事は、家族とのふれあいを深めるだけでなく、地域コミュニティの活性化にも役立っている。
- また、年中行事は、日本の伝統文化に親しむよい機会であり、無病息災を祈り、神仏や自然への畏敬の念を深めることを通じて、人々の心を豊かにする。
- 太陽暦へ改暦された明治初期、多くの年中行事は混乱を極め、旧暦で行われていた行事を、日付をそのまま太陽暦に置き換えて行うことによって、本来の意味を失ってしまったものもある。
- また、経済性、合理性を追求する生活スタイルや核家族化、地域におけるつながりの希薄化などにより、年中行事は衰退、或いは、簡素化されるなど、大きく変化している。
- 先人が長い歴史をかけて培ってきた伝統文化を次の世代に伝えていくことは、現代に生きる私たちの役割である。
- 無形の文化は時代とともに変化していくものであり、年中行事についても、形だけを伝えるのではなく、行事本来の意味、それらの中に込められた先人の思いや知恵というものを引き継いでいく必要がある。
- 現代において実施できるものは実施し、なじまないものは現代の生活に合った形で取り入れていく、そういう柔軟な方法で年中行事を守り、伝えていくことが大切である。

1 月

正月	<ul style="list-style-type: none"> ・迎春のしつらえ (門松, 根引き松, 注連縄, 餅花, 鏡餅) ・新年を祝う食事 (おせち料理, 睨み鯛, 大福茶, 七草粥) ・初詣 (参拝の作法) ・都七福神めぐり
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・皇服茶授与 ・蹴鞠はじめ ・かるた始め式 ・初ゑびす ・楊枝のお加持と通し矢 ・法界寺裸踊り ・初弘法 ・初天神
野菜, 菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・えび芋 ・花びら餅

2 月

節分	<ul style="list-style-type: none"> ・おぼけ (花街) ・慣わし (鬼, 豆まき, 煎り豆, いわしの頭に柊, 恵方巻, いわしやいたん) ・四方参り
初午大祭	
梅花祭	
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・上賀茂幸在祭 ・五大力尊仁王会 ・節分祭 ・針供養
野菜, 菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・水菜 ・鶯餅

3月

ひなまつり	<ul style="list-style-type: none">・京のひな人形・食卓（はまぐりのお吸い物，甘酒，ちらし寿司）
嵯峨お松明	
大念仏狂言	
その他行事	<ul style="list-style-type: none">・北野をどり・はねず踊り
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none">・菜の花・引千切

4月

お花見	<ul style="list-style-type: none">・桜餅，花見弁当・見どころ（嵐山，鴨川），見頃，花の種類
花まつり	<ul style="list-style-type: none">・甘茶をかける，白い象（壬生寺）
十三まいり	<ul style="list-style-type: none">・嵐山の虚空蔵さん（法輪寺）
その他行事	<ul style="list-style-type: none">・やすらい祭り・曲水の宴・都をどり・京おどり・稻荷祭・松尾祭
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none">・たけのこ・花見団子

5月

葵祭	<ul style="list-style-type: none"> ・前議，路頭の儀 ・斎王代とは ・葵について
端午の節句	<ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり ・五月人形，御所人形 ・かぶと ・ちまき・柏餅 ・菖蒲（菖蒲湯，軒菖蒲，菖蒲酒）
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川をどり ・御霊会 ・下御霊会 ・藤森祭 ・嵯峨祭 ・今宮祭 ・五月満月祭 ・三船祭
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・うど ・柏餅

6月

京町家の建具替え	<ul style="list-style-type: none"> ・簾の網代，座敷簾，よし障子
夏越の祓	<ul style="list-style-type: none"> ・参拝の作法（茅の輪のくぐり方） ・ひとがた ・水無月
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・竹伐り会式 ・田植祭 ・京都薪能
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・梅

7月

祇園祭	<ul style="list-style-type: none"> ・吉符入から疫神社夏越祭まで ・慣わし (きゅうり封じ, はも, お稚児さん, 無言詣り)
七夕	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾り (由来, 短冊, 作り方) ・七夕祭り (高台寺, 貴船神社, 北野天満宮, 地主神社)
愛宕千日詣	<ul style="list-style-type: none"> ・由来 ・参拝の仕方 ・おふだ
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿ヶ谷カボチャ供養 ・御手洗祭
野菜, 菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・とうがらし ・あんころ餅

8月

盆行事	<ul style="list-style-type: none"> ・お精霊さん (精霊馬, お供え, 六道まいり) ・五山の送り火 ・地藏盆 (由来, 行灯の作り方)
涼の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち水
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・八朔 ・六道まいり ・矢取神事 ・五条坂陶器まつり ・京の七夕 ・嵐山灯籠流し ・送り鐘 ・化野念仏寺千灯供養 ・松上げ
野菜, 菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・なす ・落雁, 白雪糕

9月

お月見	<ul style="list-style-type: none"> ・由来 ・習わし（月見団子）
重陽の節句	<ul style="list-style-type: none"> ・由来 ・習わし ・神事（上賀茂神社，車折神社，貴船神社）
萩	<ul style="list-style-type: none"> ・萩の花 ・萩まつり ・おはぎ
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・重陽の神事と烏相撲 ・観月祭
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・ずいき

10月

時代祭	<ul style="list-style-type: none"> ・行列
秋祭	<ul style="list-style-type: none"> ・鞍馬火祭 ・ずいき祭 ・栗田祭
区民運動会	
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ゑびす大祭 ・赦免地踊り ・三栖の炬火祭 ・岩倉火祭 ・人形供養 ・二十五菩薩お練り供養
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・まつたけ

11月

お火焚まつり	<ul style="list-style-type: none"> ・由来 ・習わし（護摩木，火焚まんじゅう） ・神社（伏見稻荷大社，貴船神社，安井金毘羅宮） ・地域
市民大茶会 （二条城）	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶会の作法
七五三	<ul style="list-style-type: none"> ・参拝の作法 ・服装 ・千歳飴
亥の子	<ul style="list-style-type: none"> ・亥の子餅 ・亥子祭
口切	<ul style="list-style-type: none"> ・口切の茶事
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・嵐山もみじ祭り ・筆供養 ・祇園をどり
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶら

12月

冬至	<ul style="list-style-type: none"> ・冬至の七草 ・柚子湯
迎春準備	<ul style="list-style-type: none"> ・御煤払（西本願寺） ・歳の市 ・年越しそば
除夜の鐘	<ul style="list-style-type: none"> ・由来 ・習わし ・甘酒 ・鐘をつける寺院（清水寺，南禅寺，建仁寺）
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・事始 ・終い弘法 ・終い天神 ・大根焚 ・山科義士まいり ・をけら詣り ・南座顔見世総見 ・針供養
野菜，菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆず

季節の食卓

春	若竹煮，空豆といかの炒め物，生ぶしと蕨のたいたん，菜っ葉の酢味噌あえ
夏	いわし梅煮，ささげの炊き合せ，焼きとうがらし，新生姜の炊き込みご飯
秋	鯿とお茄子のたいたん，ずいきのごま酢あえ，さつまいもの甘煮
冬	鯛かぶら，いところ煮（南瓜と小豆），大根と干し柿の酢の物，お揚げと菜っ葉のたいたん